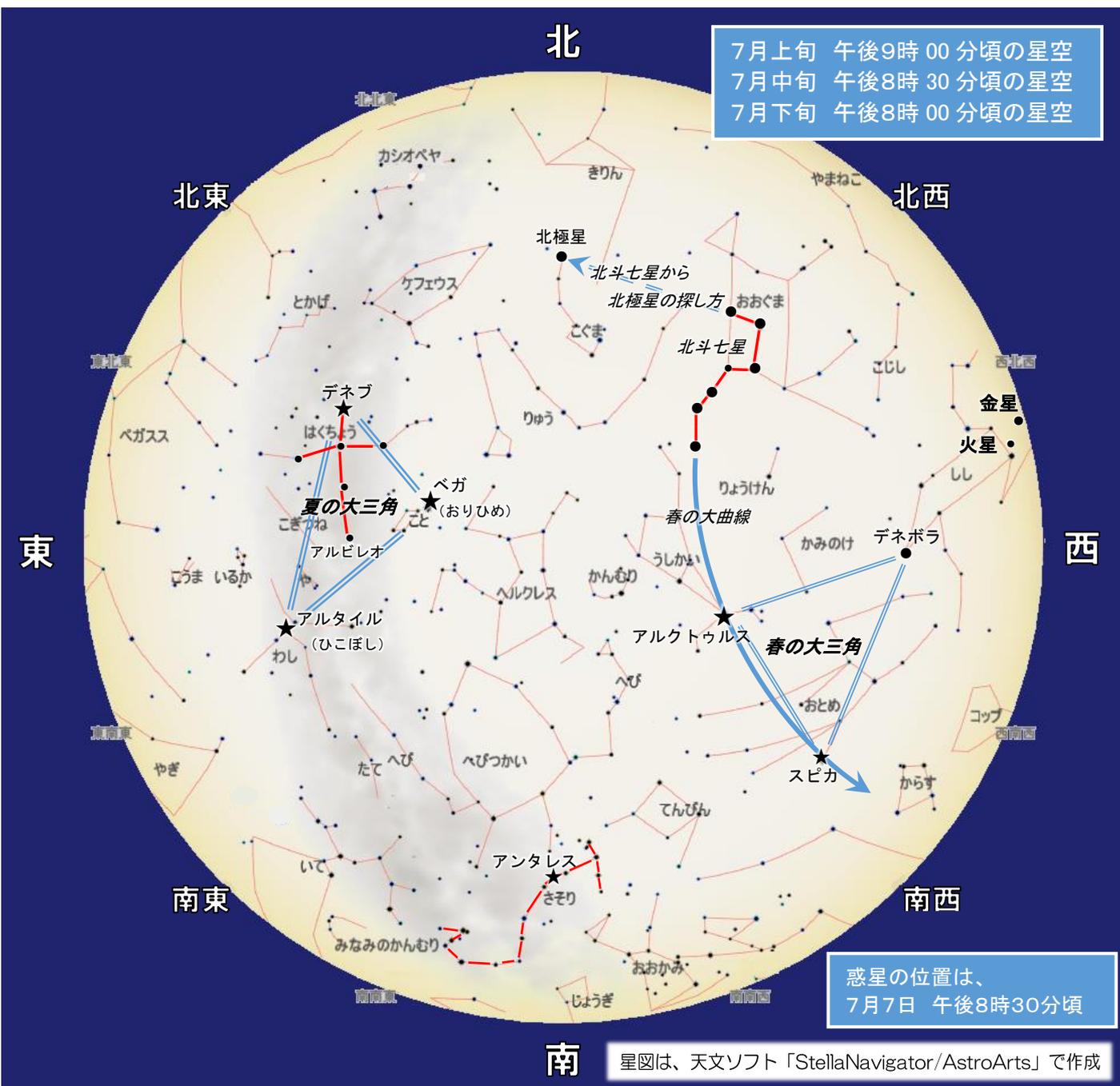


2023年 7月の星空案内



7月上旬 午後9時 00 分頃の星空
 7月中旬 午後8時 30 分頃の星空
 7月下旬 午後8時 00 分頃の星空



惑星の位置は、
 7月7日 午後8時30分頃

星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【7月の星空】

宵の空では、春から夏の星座に入れ替わる時期です。東の空から夏の天の川が昇ってきます。両岸には、七夕の「おりひめ星（こと座のベガ）」と「ひこ星（わし座のアルタイル）」が輝き、この2つの1等星に「はくちょう座のデネブ」を加えた三角形が『夏の大三角』です。残念ながら7月初めは雨の多い時期です。もともと七夕は旧暦7月7日（今年は8月22日）の行事で、こちらを「伝統的七夕」と呼びます。

南の空の低い位置に輝く赤い星は「アンタレス」、この星を中心にSの字を横にのばしたような星の並びが「さそり座」です。南の空が開けたところで見つけてみましょう。

【7月の惑星】

日の入後の西の空で『宵の明星』として輝いてきた「金星」が、7月7日に最大光度を迎え、マイナス4.7等という明るさで輝きます。澄んだ空では、昼間の青空の中に肉眼でも見つけることができるかもしれませんが、誤って太陽を見ないように十分注意してください。

また、11日から12日に日付が変わる頃には、月の出の直後に木星が姿を現し、並んで昇っていきます。早起きをして、舟型に欠けた月と、明るい木星を双眼鏡で眺めてみてはいかがでしょうか。

一部引用「自然科学研究機構 国立天文台HP」